

# 令和2年度10月度 往還勉強会

## テーマ

### 「コロナウィルスの現状と往還マニュアル」

講師：施設長、補佐、介護主任、医務

日時：10月8日（木） 16:30～

場所：往還ホール

10月1日に津で行なわれた「社会福祉施設における感染症対策」研修内容の伝達。そして当施設としてコロナウィルスをどう予防に繋げていくのかの予防対策、実際に陽性者が出た場合の対応について発信しました。コロナウィルスは世界中でまだまだ増え続けています。まだ色々なことが解っておらず、手探り状態で対応しています。施設として、各職員が職業意識を持って個人単位のリスクアセスメントと工夫した行動によるリスク回避対応をすること、陽性者が出た場合に備えての計画やマニュアルの整備と随時肉づけ作業。陽性者が出た場合は、保健所が来て明確な対応が決まるまで「接触者を増やさない」、「環境を汚染させない」行動を実施していく大切さを学びました。



#### コロナの現状と往還対応マニュアル

令和2年10月8日

##### 1. コロナの現状

コロナはまだ色々なことが解っていない状況で  
手探り状態



目隠した状態で象を触っている

- ・人にかかり適応している状況
- ・世界中にまだ増加傾向
- ・全体の半数が無症状から感染
- ・高齢者でも無症状になる
- ・無症状者でもレントゲンで肺に影がある場合もある
- ・子から親への感染は少ない
- ・抗体キットはまだ信頼できる段階ではない
- ・ウィルスが消えることウィルスが体内から駆逐されることは異なる  
(治療しても肺の中にウィルスがいるかもしれない)
- ・感染の後遺症なのか症状が持続
- ・環境からの感染は10%程度で低い
- ・衣類から手へ移動するのは0.0005%
- ・無症状者のスクリーニングが大切
- ・いかに基本に忠実に、あとはどう工夫してやっていくか

##### 2. 感染症のことを知る

- 動物から動物へ伝播（でんぱ）していく → ヒトを介して、ヒトが移っている  
発生が多いところは地域の中でぐるぐる回っている → 三重は未だその状態になっていない  
三重は外からヒトを通して入ってきて伝播している
- 感染症は3つの条件が揃わないと感染しない基本を押さえておく（\*6月往還勉強会でも触れた）
  - ①感染源：病原体が存在
  - ②感染経路：病原体がヒトに到達
  - ③感受性：病原体への抵抗力がない